

2024 年度 ニチキッズつるおか天神保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月14日（火）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月26日（水）
	実施方法	全職員にて各自の自己評価、保育施設としての評価を提示、共有。その内容を基に、保育施設の課題に対し、どんな取り組みを行ったことでどんな成果が出たのか、具体的な内容を出し合い検討。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」という保育理念に則り、子どもも職員も自分というカラーを表出できる園となるためには、どんな取り組み、配慮が望ましいのかと、多くの話し合いの場を設け、気づき合うことができた。また、「子どもの最善の利益を尊重した保育とは」という学びを毎月1回行い、職員間のコミュニケーションの大切さ、報告・連絡・相談の大切さを改めて感じることができた。今年度の気づきを忘れないよう、定期的に振り返りの会議・研修を実施していく。
子どもの発達援助	保育所保育指針を土台に、子どもの発達に応じた環境設定についての学びを年4回行った。「育てたい子どもの姿」年度初めに共有し、子どもの自発性を伸ばす環境を整え、経験不足がないよう引き続き、人的・物的環境の見直しを図っていく。
保護者に対する支援	行事内容、会場設定の工夫により、多くの保護者様が参加できる行事を開催することができた。登園時も降園時も笑顔の子ども達であることで、保護者様が安心して仕事と子育ての両立が図れるようにした。更に保護者に寄り添いながら、子ども達の成長を喜び合えるよう、日常の保育を多く発信していく。
保育を支える組織的基盤	毎月の園内研修、外部研修、15分ミーティングで園内、クラスの課題を共有し合える場を設けた。職種、年齢分け隔てなく声を出し合い、全ての物事を自分事として捉えられるよう、チームとなって保育園の質向上を目指したい。

総評
・今年度は「子どもも、職員も自分らしく」園の中で過ごせるような話し合いの場を定期的に設定したことで、それぞれがやってみたい遊び・保育を実行してみようと、意見交換を重ね、子ども達の自発的な姿を引き出しながら、職員も楽しくそれぞれの役割を果たすことができた。しかし、より深く個人差を理解することで、子ども、共に働く仲間へ寄り添った保育園を目指すことができる。次年度は、話し合いだけでなく、『対話』を積み重ねながら、保育の質の向上を目指していく。